

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会
第 21 期 111 号

発行者 榎 津 直 江
編集者 小 林 涼 子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

二人または三人がわたしの名によって集まるところには、
わたしもその中にいるのである。 マタイによる福音書 18 章 20 節

まどろむことなく

見守ってくださるように

(詩編 121:3)



牧師

和田 憲明

箱崎教会
聖ペテロ教会
二日市教会

「山辺に向かい、われ目をあぐ、助けはいずかたより来たるか」『教団讃美歌』301番、『教会讃美歌』333番。阿蘇山荘を思い出す時、私が口ずさみたくなる讃美歌の一つです。みなさんにおきまして、山荘を臨む風景やそこで行われた数々の研修やキャンプなど、かけがえない思い出としてよみがえることでしょう。この場所で先達のキリスト者たちの信仰が育まれてきました。私もその一人です。

とくに関わりの深かったのは十数年来たずさわった「九州教区夏の高中生キャンプ」です。毎年、聖句やテーマを選び二泊三日のプログラムに試行錯誤するのがルーティンでした。山荘周辺の下見、ポスター&ちらし作成と各教会への呼びかけ。当日を迎えて開会礼拝、アイスブレイ

ク、ドラム缶バーベキュー、テーマの学び(三日間で3、4つに分けて)、山荘名物Lの字風呂・温泉、肝だめし、自由時間・お菓子タイム(スタッフもしかり)、テーマを深めるワーク、恐ヶ淵の川遊び、カレー、花火、スイカ割り、感想文、思い出作品作り、JELCY九州青年会ソーマン:どのキーワードを連想ゲームのようにひろつても、参加者たちはあの日にタイムスリップできます。

たとえば10年前の資料を見返すと、中高生の参加者26名、スタッフ11名、食事スタッフ(女性会より)11名と盛会だった記録が刻まれています。数だけでなく感想文から伝わるのは、礼拝や聖書、テーマの学びを通して気づかされたこと、神さまと自分自身の振り返り、信仰の友が得られた喜びです。この年は、サクラメント(聖礼典)にもふれて「聖餐の意味を噛

みしめた」や「今年のクリスマスに洗礼・堅信を受けます」そして、献身にいたる思いもあり、「これからヨロシクです!」のコメントは、物心共々で支え見守ってくださった教区みんなの喜びでした。

冒頭の讃美歌のモチーフとなった詩篇121編には、短い節に「見守る」が6回も繰り返され、礼拝時に交わした典礼歌と伝えられます。二千年余歌い継がれたように、この主の見守りの中で阿蘇山荘にとどまることのない風景は続きます。かたちを変え時代を超えてもどこか懐かしい、けれども新しい集いを求め、これから共に賛美しましょう。
「あめつちのみ神より 助けぞわれに來たる」

【特別企画】

思い出の阿蘇山荘

昨年10月に感謝の祈りをもってその役目を終えたルーテル阿蘇山荘。長きにわたって親しまれ、たくさんの思い出を作られた方も少なくないのではないだろうか。

今回は、阿蘇山荘への思いを
みちしるべに寄せていただきました。

主の恵があふれる処

室園教会 河野久美子



阿蘇山荘のスタンプ
(池田照さん提供)

阿蘇大橋から程近いところに、今もルーテル阿蘇山荘の小さな立札があります。
一九五九年に建てられた山荘は、六二年間宣教、育成、交流のプログラムが用意され、訪れた多くの人々が新しい力を得て山を降って行く所でした。

記録をたどると、夏季の利用に片寄る山荘運営は維持管理にご苦労があったと思われます。また九州女学院短大が四年制大学になる折には一部が譲渡されたという記録があります。

この春、私は息子と連れだって山荘の跡地に向いました。そこは明るい陽射しに新

緑が美しく、建物のない広場では小鳥の声や、涼しい風が心身をなごませてくれました。

五年前地震で建物が崩壊するまでは、年に一度熊本地区女性会の清掃と交わりの会が催されていました。幼い子ども達が遊んでいた、数人の男性が網戸の張り替えをしたり、後に九州ルーテル学院の学生さん達と布団干しなど共に汗を流した事は楽しい思い出です。

グリーンチャペルと呼ばれていた林の奥の十字架は昔のままで、ここで聖書が読まれ幾多の賛美と祈りがささげられたのか思いを巡らすのでした。

「あなたの若い日にあなたのつくり主を覚えよ」の御言葉を体験できる場でした。80歳を過ぎた今でも私の中にこの聖句が生き続けています。

小学生で参加していた長崎教会の元役員の娘さん(現在67歳・鎌倉在住)に、阿蘇山荘が解体されたことを伝えたところ、「当時は親が行けというので参加していたけれど、今は大切な宝物として心に残っています」と便りがありました。

阿蘇山荘があったからこそ、長崎にいた私たちもこういう貴重な体験ができました。心から感謝しています。



グリーンチャペルの十字架(河野さん撮影)



ホールのピアノ
(感謝の祈りにて撮影)

今年も又会えましたね

神水教会 岡田 レツ



毎年五月に実施していた山荘の大掃除の思い出を一つ、二つ。

「お久しぶりー、お元気でしたかー」

「今年も又お会い出来ましたね」等の大きな声が飛び交う光景が山荘清掃奉仕の朝の風景でした。礼拝が終了後、参加者全員が外の広場に二列に並びバケツリレーならぬ布団リレーで広場に並んだ車の上に次々と布団が干されていきます(車は前日に必ず洗車をお願いしてあります)。その後、各教会に割り当てられた所を昼まで清掃。

昼食はホールに全員集合して頂き、教会毎に近況報告、学生ボランティア(九州ルーテル学院大学の感想を聞いたり交流を深め、長い歴史の中で昔は活躍され、今はお年を召されている方々も皆様に会えるのを楽しみに参加していました。

午後一番にふつくとふくらんだ布



布団リレー。車の上に干していきます。
(岡田さん提供)

団の取り入れ、布団リレーで。ある時、和室の畳を日向に干し、取り入れ元に戻すまでを学生担当としたら、「どうしても畳がうまく入りません」と。見に行くと柔道場のように並べてあり、「畳はこう敷くのよ」と図で説明、元に戻りました。「我が家はマンションで畳はありません」と何人もの学生からの声、時代は変わった…。その後は、和室にはナンバーを打った図面を貼り、畳にもナンバーを打って解決しました。

五月の爽やかな風の中での奉仕は、神の家族として喜びに満ちた大切な思い出です。



←KKS = 北九州キリスト教会学校での集合写真
(昭和 43 年頃。小倉教会・穂坂良子さん提供)

阿蘇山荘夏期聖書学校の思い出

長崎教会 池田 照

2泊3日という短い日程でしたが、大自然の中で過ごして神様を体感しました。参加した子どもの感想に「神様を感じた」という言葉があり印象に残っています。

野外の早朝礼拝では「やまべにむかいてわれめをあぐ」の讃美歌を思い浮かべ、神様の存在を実感しました。キャンプファイヤーは、ラスムッセン宣教師の「とおきやまにひはおちて」のトロンボーン演奏で点灯式が始まり、真っ暗闇の中で星を見たことは今でも忘れられません。

阿蘇の広い草原、山や滝、長崎にはない恵まれた自然の中での夏期学校は、まさに



阿蘇山荘ベランダにて。中央が穂坂さん。

今回、多くの方より写真・資料をご提供いただきました。心より感謝申し上げます。

(小林涼子)



中高生キャンプのみんなで

私は、阿蘇山荘のことを思うと沢山の事を思い出します。夏の中高生キャンプで、森の中に入ってからモーニングデートや礼拝をしたり、女性会の方の協力も得てみんなでご飯を作ったこと。肝試しをした事や、今にも虫が入ってきそうな畳の部屋で寝た事、また一番印象深いのは、阿蘇山荘の白いベランダで BBQ をした事です。その時の懐かしい写真が、家の机のマットの下に挟んであったいつもそれを見て懐かしんでいます。また、牧師ロックスがミニライブをしてくれた事を鮮明に覚えています。それを機に何回かライブにも行き、タオルやTシャツを買いました。阿蘇山荘は僕に思い出や、自然の気持ちよさなど多くの事を感じさせてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



阿蘇山荘 特別編

九州教区青年会長

箱崎教会

深町

優太

阿蘇山荘の思い出



*活動目標1

信仰の継承 若い人々と共に学ぶ*

十五歳!

こんなに沢山の思い出があったからこそ、解体の祈りに参加した時はなんだか寂しさであったり、切なさのようなものも感じました。それは、熊本地震後に阿蘇山荘へは行っていないなかったため、自分の記憶にある姿とはとても変わって果てていたからです。床には穴が開いていたり、崩れていたり中はとても痛々しいものとなってしまいました。しかし、それを見るたびに昔の思い出がたちまち不思議と蘇ってくるのでした。また、今回解体の祈りにも参加して思いましたが、阿蘇山荘は皆から愛されているんだなと感じました。きっと、阿蘇山荘は解体されても私たちの心の中から阿蘇山荘が消えることは決してないと思います。阿蘇山荘、本当に最高の出会いと思い出をありがとう!!

筑後地区女性会総会にお邪魔しました！

3 月 12 日 於：日田教会



早春の柔らかな風の中、筑後地区の女性会総会参加のため日田教会へ。コロナ対策として参加者は各教会2名に限定し、明るい光がステンドグラスから差し込む礼拝堂で真木澄子会長のごあいさつから総会は始まりました。

筑後地区女性会は毎年「平和の集い」を開催し、2019年、20年と継続して取り組まれています。今年度は日田教会での開催が予定されているとのことで、素晴らしい活動に感激しました。

総会の後は楽しい雰囲気の中、各教会の紹介や、改築された日田ルーテルこども園の見学など、ひとときの交流をさせていただきました。「神様とともにいる喜び」を体現するような筑後地区女性会のつながりに、力を感じました。

教区女性会役員となって初めての地区総会出席でした。少しの時間でしたが、会員の方々との交わりが持てたことに感謝しています。コロナが収束し、各教会の行事に自由に参加できる日が早く来ることを祈りたいと思います。
(榎津直江)



ひと月遅れの世界祈禱日礼拝

4 月 8 日 於：八幡教会

4月8日、八幡教会にて世界祈禱日礼拝、および北九州地区婦人会総会が行われました。

福岡県独自のコロナ警報が発令される中でしたが、北九州地区婦人会のメンバー10名が喜びの再会。

岩切雄太牧師による礼拝の後は2年ぶりの地区婦人会総会を実施し、昨年開

催を見送った小倉教会森下真帆牧師を囲む会や、例年秋に行われる八幡教会バザーを今年に行えたら、と希望を語り合いました。

通常より短縮した形でのプログラムでしたが、礼拝式文に登場した「希望の種」として、ウクライナを覚え、ひまわりの種の入った青や黄色の折り紙で折られたハートをそれぞれ手に、「また会いましょう」と言葉を交わし、暖かな陽気の中、教会を後にしました。(小林涼子)





(活動目標3 会報みちしるべによる交流)

25年前に建築された大分教会会堂には、パイプオルガンのバルコニーは作られていましたが、パイプオルガンなど夢のまた夢でした。ところが2018年4月18日パイプオルガンが完成しました。664本のパイプ一つ一つを組み立てていけるのを側で見て感動しました。

我が教会のオルガニストが登山仲間からイタリアのドロミテ在住のオルガニスト吉田愛氏の存在を知らされ、現地を訪れた時に連絡、愛氏の夫君が属するアンドレア・ゼーニ工房を案内されたのを機に当教会にパイプオルガンがやってくるに至りました。

主の御導きに感謝して

大分教会 井野邊 陽子



大分教会のパイプオルガン

た。同年6月23日にオルガン聖別式とお二人ともオルガニストの愛ご夫妻による披露コンサートが開かれました。教会堂設計者の故稲富昭先生ご夫妻も千葉からお出かけくださいました。その会食の折、稲富先生から「ドロミテの大理石の粉が教会の壁に使われています」と言われ、不思議な縁に牧師はじめ一同感動しました。

毎日曜パイプオルガンの前奏により礼拝がはじまります。三人のオルガニストが交替で演奏し、美しい調べが響き渡ります。

2011年3月11日東日本大震災の後大分在住のピアノリストの発案で当教会を会場にチャリティーコンサートが開かれ多くの音楽家が賛同してくださり今も続いています。捧げられたお金はNPO法人「のんびりすみちやんの家」に送金しています。またいろいろな音楽会やピアノ教室等も開催されており、外に開かれた教会だと思っています。

現在私は補聴器をつけても説教が聞こえないので、牧師先生に説教原稿を頂けたら嬉しいのですがとお願

いしました。感謝すべきことに頂きました。私だけでは勿体ないと思います。最近ご主人の介護等で礼拝に出席できない友達にもお送りし、皆様大喜びなさっております。

女性の集いは毎月第二金曜日に開かれています。会員数は9名ですが5、6名の出席です。

*

今回の甲佐教会の皆様の上に神様からの御祝福と御恵が豊かに充ち溢れますように。



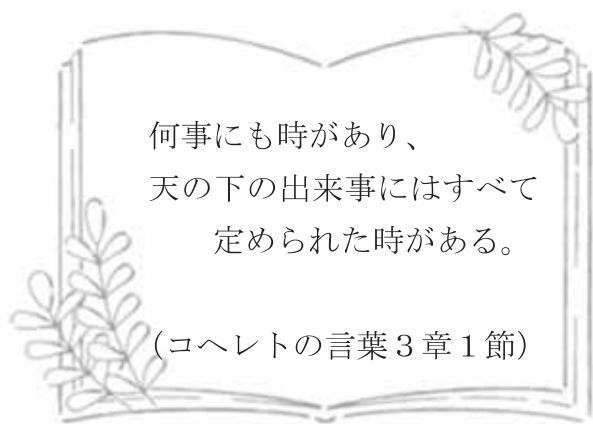
大分教会 女性の集いのみなさん
(前列中央が井野邊さん)

私の聖句

(活動目標 2 会員と共に恵みを分かち合う)

安永 波恵さん (博多教会)

— 前編 —



蒔かれた種

安永波恵さんは 1926 年、福岡県若宮町（現在の宮若市）に生まれ、幼少期を兵庫県で過ごし、少女時代は再び若宮町に戻って過ごされました。教師を夢見る活発な少女で、東京女子高等師範学校（現お茶の水女子大学）への進学を目指します。

その際、音大を卒業し、当時彼女が通う直方高等女学校に赴任したばかりだった恩師、高島貞允先生による音楽の受験指導が大きな出会いとなりました。貞允先生のお父様はルーテル直方教会の高島貞久牧師。安永さんは貞允先生のご自宅である直方教会の牧師館に通い、夜遅くまで勉強を見ていただいたそうです。これがきっかけとなり、お母様と実弟の谷口博章牧師は信仰の道に入られます。しかしご自身は目標に向かい勉学に励むのに夢中で、信仰生活に入ることはありませんでした。



東京女高師在学中は創作ダンスを専攻、卒業後は福岡で体育教師として働きながら結婚、子育てする生活を送られます。当時は華道、茶道、書道に美を求め、作品を創作することに没頭、また自分自身の力で頑張ってきたという自負があったため、ご自身の心の中に関心を払うことはなかったそうです。



時は流れ、教職を勤め上げ、お母様とご主人を天に送った後「これから生きていくために自分はどのような人間でありたいか」を考えるように。そんな時、弟の谷口牧師より「博多教会に行ってみたら」と勧められます。

その言葉に従い教会を訪ねたところ、長岡立一郎牧師から贈られたのは「お母様の影響ですね」という言葉でした。

「母から教会に行くよう言われたことはなかったのですが、今振り返ってみれば母は行いで信仰を示してくれていたのでしょう。」と安永さん。蒔かれた種が芽を出す、定められた時が来たのでした。

(後編へ続く)

★活動報告★

2021 年

11 月 20 日 (土) (出席：榎津)

熊本秋の集い (神水教会)

11 月 22 (月) ~ 23 日 (祝) (出席：榎津、廣瀬)

女性会連盟 25 期拡大役員会 (東京)

2022 年

2 月 26 日 (土)

第 7 回役員会 (博多教会、一部リモート)

3 月 2 日 (土) (出席：榎津、荻野、監査 2 名)

2021 年度会計監査 (博多教会)

3 月 12 日 (土) (出席：榎津)

筑後地区女性会総会 (日田教会)

3 月 26 日 (土)

第 8 回役員会 (博多教会、一部リモート)

4 月 23 日 (土)

第 9 回役員会 (博多教会、一部リモート)

7 月 2 日 (土)

第 10 回役員会 (博多教会)

高倉澄子さん

向井悦子さん

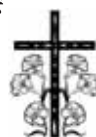
池之上 (辻) 昭世さん

平山トミコさん

交野秀子さん

廣瀬弘子さん

ご召天

95 歳
2022 年 5 月 8 日
日田教会93 歳
2022 年 4 月 7 日
門司教会79 歳
2022 年 2 月 18 日
八幡教会93 歳
2022 年 2 月 8 日
神水教会90 歳
2022 年 1 月 21 日
神水教会99 歳
2021 年 12 月 22 日
博多教会

九州教区女性会 2021 年度決算報告・2022 年度予算

(円)

	科 目	2021 年度			2022 年度	
		予算	決算	備 考	予算	備 考
収 入	1 教区会費@1200	360,000	342,000	@1200 × 285 名	336,000	@1200 × 280 名
	2 みちしるべ購読@200	20,000	19,600	@200 × 105 部	19,600	@200 × 105 部
	3 感謝献金	150,000	151,340	2021 年度感謝献金 141,700 円、 教区女性会働きのために 3,640 円他	150,000	
	4 席上献金	40,000	43,500	総会、会長会、他	40,000	集い、会長会、他
	5 預金利子	2	2		2	
	6 プール制負担金	-	46,000	2/27 総会、11/30 会長会	46,000	
	7 雑収入	198	0		-	
	8 前年度繰越金	271,800	271,800		266,840	
	合 計	842,000	874,242		858,442	
支 出	9 役員会費	50,000	37,290	役員会交通費、会場費	60,000	役員会交通費、会場費
	10 会長、役員活動費	82,000	54,120	会計監査交通費、教区総会、 常議員会陪席、交通費 各地区の集い参加交通費	90,000	会計監査交通費、 常議員会陪席、交通費 各地区の集い参加交通費
	11 通信費	30,000	21,031	会費請求依頼書、会費振替料 議事録、他発送費	20,000	会費請求依頼書、会費振替料、 議事録、他発送費
	12 事務消耗費	20,000	16,468	会議報告書印刷代、封筒、のり、 など事務用品	15,000	会議報告書印刷代、封筒、のり、 など事務用品
	13 みちしるべ印刷、発行	150,000	147,964	みちしるべ 109 号、110 号	150,000	みちしるべ 111 号、112 号
	14 集会費	150,000	183,575	2/27 総会、11/30 会長会	150,000	教区女性会の集い諸経費、 教区会長会諸経費
	15 慶弔費	10,000	3,454	弔電、お悔みカード、 お祝いカード、など	7,000	弔電、お悔みカード、お祝い カード、など
	16 支援費	200,000	50,000	JELCY 九州の活動支援	200,000	春のディーンズキャンプ、中・高生キャン プ、JELCY 九州の活動、ルーテルこども キャンプ 4 件各 50,000 円
	17 指定献金	50,000	43,500	阿蘇山荘 24,000 円、光の子 会 19,500 円	40,000	秋の集い (光の子会へ) 他
	18 連盟総会旅費 補助積立	50,000	50,000	2021 年度積立	50,000	2022 年度積立
	19 予備費	50,000	0		76,442	
	21 次年度繰越	-	266,840		-	
	合 計	842,000	874,242		858,442	

2021 年 12 月末各通帳残高・2022 年繰越

一般会計	¥ 266,840
連盟総会旅費補助積立金	¥ 433,460
シルバープロジェクト基金	¥ 996,983

2022 年 3 月 2 日、監査 杉原正子さんと安藤清江さんより

監査を受け、承認頂きました。

2022 年 2 月 26 日、役員会にて 2022 年度予算が承認されました。

感謝してご報告申し上げます。

教区会計 荻野 千恵

教区女性会
会長会・修養会のお知らせ

9 月 24 日 (土)

11 時より

会場：博多教会

・21 期教区女性会
活動報告

・社会福祉法人
光の子会

会長・理事長
岩切雄太牧師
(八幡・門司教会)
による講演

ぜひ

ご参加ください！

